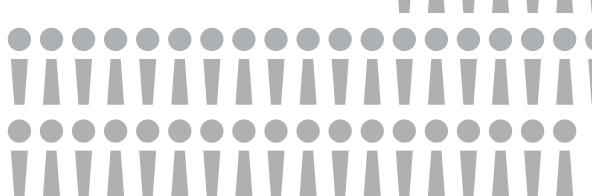
ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社

SERVICE GUIDE













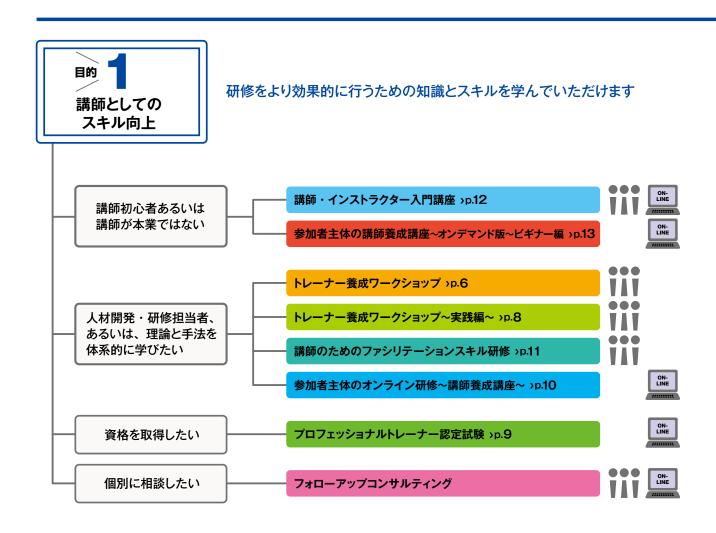


Dynamic Human Capital

オンラインでも対面でも 研修の目的は 結果を出すことです。

研修は「イベント」ではなく「プロセス」です。研修を「やりっぱなし」にせず、職場に戻って実践し、ビジネス上の成果につなげることこそが真の目的です。

ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社は、「人を育てる人を育てる」ことをメインフィールドとする、人材開発のプロフェッショナルです。サービスの主軸は、「参加者が主体的に学び、行動変容を起こすことを導く」人材育成の世界的権威ボブ・パイク・グループの「参加者主体の研修手法」のノウハウ。「ディスカッションを取り入れる」というような表面的なスタイルではなく、行動変容と成果につながるアクティブラーニングで、対面研修はもとより、急速に需要が増したオンライン研修でも参加者を主体的な学びに巻き込みます。また、研修内製化の支援やコンサルティングもニーズに合わせてご提供していますのでお問い合わせください。





ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社の

支援の特徴

研修当日だけを企画・設計するのではなく、 研修前後の取り組み、

環境への働きかけも含め、

包括的な視点と組織開発的アプローチで 支援させていただきます。

1. 人材育成の世界的権威、ボブ・パイク・グループとの提携

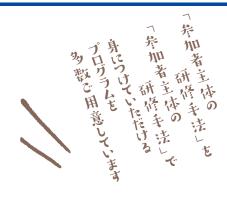
- ボブ・パイク氏が開発した「参加者主体の研修手法」を駆使しての研修実施
- 「記憶に残し行動変容を起こす」研修ノウハウ

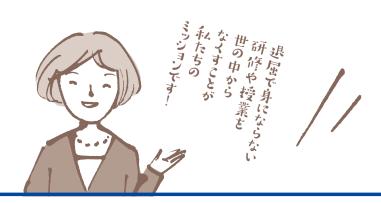
2. クライアントと共に創り上げる姿勢と柔軟性

• 状況とニーズを分析し、常にクライアントにとってのベストを提供し続ける姿勢

3. 様々な業界での経験とノウハウ

- グローバルな競争力を持つ企業での人材育成、組織開発経験
- 多種多様な業界においてのコンサルティング、研修実施実績





目的 2

社内講師育成 社内研修の質の向上 社内講師のスキルアップや研修内製化のご支援をご提供します

社内講師のスキルを 向上させたい 左記「1. 講師としてのスキル向上」の すべての講座の社内開催を承ります

オンライン研修を 改善したい

オンライン研修を参加者主体にする 3時間集中講座 >p.11



大学等、教育機関で教員の スキルアップをしたい

「学生主体」の授業デザインと運営手法ワークショップ >p.9



研修内製化コンサルティング >p.14

ON-LINE

研修を内製化したい

研修内製化デザイン支援 >p.14

TRAIN-THE-TRAINER **BOOT CAMP**

講義形式の研修は退屈だ。

自分だって、楽しい方がいいとは思う。



そんな研修を

覚えた!! 学んだことを記憶に留める。

参加者が主体的に考え、答えを導き出し

覚えてないことは ないよなぁ

さらに、現場で実践しようという

気持ちにさせる研修に、生まれかわらせる。

)は?:

それが「参加者主体の研修手法」です

講師が「説明した」からといって、 学習者が「学んだ」とは限りません。 「参加者主体の研修手法」を活用して 「現場での実践」を可能にするトレーニングを目指しませんか?

「参加者主体の研修手法」は、人材開発の世界的権威であるボブ・パイク氏が、長い研究と実践を経て確立した、「参画型」で「双方向」の研修方法です。アダルトラーニング(大人の学習)や心理学、脳科学をベースにしたこの手法は、学習者の主体性を引き出し、結果として行動変容を起こすことを強力にサポートします。

「参加者主体」の研修手法は、研修のテーマやコンテンツ、業界等を選ばず、どのような研修にも活用していただける手法です。世界の5大陸で30万人以上のトレーナーが、この手法を学び、教え方を変化させてきました。その実績はボブ・パイク氏が atd (Association for Talent Development) の年次カンファレンスにおいて 40 年間、スピーカーを務め、人気トップ 5 に入り続けていることにも表れています。

「参加者主体の研修手法」は、半分の時間で 2 倍の学習を可能にします。この手法が効果を出せるのは、学ぶ人のニーズに合っているからです。人の集中力が持続する時間は短いため、集中力が途切れないよう定期的に興味を引きつけることをデザインに組み込みます。また様々な学習スタイルにも対応し、安心して学べる環境で集中して学んでいただくことができます。

講義形式の研修は講師がどんなにすばらしくても、一度説明しただけの内容は1日後には80%も忘れられてしまいます。一方、「参加者主体」の研修では、「参加者」が自ら主体的に考え、学んだ理論やツールを活用して、自ら答えを導き出す力を身につけることを促します。これは、「大人」に対して多くの場面で行われている講義形式の研修が、実践で効果をあげないことに気付いたパイク氏が、いかに研修内容を参加者の記憶に留め、さらに学んだことを実践することを可能にするかを追求した結果導き出された手法です。また、研修でのコミュニケーションは、講師対参加者のみで行われるのではなく、参加者同士でも行われます。参加者同士がお互いの経験やアイデアを共有し、その答えをより質の高いものにしていくことを目指していきます。

そして、これこそが職場に戻ってからの実践のための鍵なのです。研修が終わって、参加者が職場に戻ったとき、教えた講師はもういません。ですから、参加者が主体的に実践したり、問題を解決する力を身につけていなければ、研修はイベントで終わってしまうのです。「参加者主体の研修手法」は、研修参加者に自分たちで実践、解決する力をつけさせることによって、あなたの行う研修を、実践で成果を上げる研修に生まれ変わらせます。

- ・アクサ生命保険株式会社・大塚製薬株式会社・小野薬品工業株式会社
- ・株式会社ケイキャリアパートナーズ・株式会社明治・四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
- ・芝浦工業大学・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社・ソフトバンク株式会社
- ・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社・PGF 生命保険株式会社
- ・ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社・ヤマト運輸株式会社
- · American Express Financial · Minneapolis Public Schools · University of Chicago
- · University of MN · US Army · US Marine Corps · US Navy · Boehringer Ingelheim
- · GlaxoSmithKline · Johnson & Johnson Wound Management · Novartis · Pfizer
- · Procter & Gamble Pharmaceuticals · Boeing · Coca-Cola Enterprises · Harley Davidson · Shell Oil · Wella Corporation · Hallmark · Kellogg's · Nordstrom · McDonald's
- $\cdot \ \mathsf{Target} \ \mathsf{Corporation} \ \cdot \ \mathsf{Wal\text{-}Mart} \ \mathsf{Microsoft} \ \cdot \ \mathsf{Sony} \ \cdot \ \mathsf{T\text{-}Mobile} \ \cdot \ \mathsf{Verizon}$



fab fika

ボブ・パイク氏

ボブ・パイク氏は CSP (Certified Speaking Professional、以下 CSP) 保持者で CPAE (Council of Peers Award of Excellence、以下 CPAE) 委員に就任して おり、1969 年以来トレーニングとパフォーマ ンス向上のプログラムを開発しています。 ベストセラー 『The Creative Training Techniques™ Handbook (クリエイティブ・ トレーニング・テクニック™) 第 3 版』をはじ め 20 冊以上の本を書いています。 1987 年 には、研修業界で最も広く読まれている毎月 発行のニュースレター『Creative Training Techniques™ Newsletter" クリエイティ ブ・トレーニング・テクニック™・ニュースレ ター』を創刊しました。世界中で 120,000 人以上のトレーナーがボブのクリエイティブ・ トレーニング・テクニック™ワークショップに参 加しています。ASTD (American Society for Training and Development) や、国立 スピーカー協会 (National Speakers Association)および国際ラーニング同盟 (International Alliance for Learning) で 役員を務め、選ばれた人だけに授けられる CSP を取得しており、CPAE では議長殿堂 入りを果たしています。2002 年に Lead Like Jesus 協会の役員となり、活動を続け ています。2007年には、人材育成分野で最 も影響を与えたリーダーに贈られる賞を受賞し ました。

「一方的な講義形式の研修から脱却したいトレーナーには、ボブ・パイク氏の参加者主体のワークショップとコンサルタントを推薦します。弊社のスタッフは、クライアントにより効果的なトレーニングが提供できるように、ボブとボブのコンサルタントから学んだアイデアを応用しています。他にも多くの会社が同じことをしています。」

ケン・ブランチャード博士

導入企業の

"The One Minute Manager (1 分間マネージャー)" の共同執筆者

「ボブ・バイク氏は常に最先端の実践的なアプローチを使って、学習法やトレーニングの手法を紹介しています。このワークショップに参加すると、実践的なプロセスやテクニックを学ぶことができます。 それは単なる理論ではなく、間違いなく結果を出すことができる実践的なプロセスやテクニックなのです。

エリオット・メイシー氏

メイシーセンターアンドラーニング 2007 の創立者 "コンピューター・トレーナー・ハンドブック" の著者



トレーナー養成ワークショップ







まずは「参加者主体の研修手法」を 学んでみたい!という方に

この講師養成プログラムは、話し方やアイスブレイクなどの、単なるノウハウ研修 ではありません。

脳科学や心理学を基盤に開発され、40年以上の実績を持つ研修理論とテクニック、「参加者主体の研修手法」の基礎をしっかり学ぶ 2 日間のワークショップ、BOB PIKE'S TRAIN-THE-TRAINER BOOT CAMP。我流の教え方から脱却し、本物の講師力を身につける大きな一歩です!

参加者をひきつけ、その主体性を引き出し、インパクトがあり、実践につながる研修を行うための秘訣がぎっしり。世界で最も認められているこのトレーナー養成ワークショップは、すでに世界中で 30 万人以上のトレーナーが受講し、劇的な効果をあげています。セミナー講師養成、研修講師養成、社内講師育成の基本プログラムとして、インストラクショナルデザインからファシリテーションテクニックまでを総合的に学べます。



((こんな方に))

- ◎「参加者主体の研修手法」を活用して研修をデザインおよび実施したい講師の方
- ◎ 講師スキルを高めたいとお考えのセミナー講師・研修講師・社内講師の方
- ◎ 大学などで教えている教員の方

((トレーナー養成ワークショップのねらい))

- ◎オープニング、クロージング、リビジット、エナジャイザーの重要性を理解し、実践のアイデアを得る
- 一方的な講義と参加者主体の手法の効果の違いを実感し、実践しようという気持ちになる○ 参加者主体の研修デザインについての理論を理解し、自分のコンテンツにどうあてはめる
- ◎ 参加者主体の研修デザインについての理論を理解し、自分のコンテンツにどうあてはめるかを検証する
- ◎ インストラクショナルデザインの8つのステップを検証し、自分の研修への活用を検討する
- ◎ 対応が難しい参加者への適切な対応方法を選ぶ
- ◎ 研修終了後に参加者が職場で実践する率を高めるために必要なアクションが何かをリストアップする
- ◎ 評価・効果測定についての概要を理解し、今後の計画を立てる

((内容))

モジュール 🛛 🖪

CORE — クロージング、オープニング、 リビジット、エナジャイザー

- ◎ 参加者主体の研修手法に欠かせない オープニング、クロージング、リビジット、 エナジャイザーの意義
- ◎ 効果的なオープニングはなぜ重要か
- ◎ 参加者を精神的にも肉体的にも研修に も研修に入り込ませる方法
- ◎ 様々なCOREの体験と活用方法の検証
- ◎ 参加者の自主性を引き出し、全員を巻き込む研修の場づくりの要素
- 記憶と学習 ―― 長期記憶への定着を 高める7つの要素
- ◎ 参加者主体の研修手法が講義形式より 効果的であることの体験

モジュール2.

参加者主体の研修手法

- ◎ 講師の役割
- ◎ 参加者主体の研修手法の基本理論
- ◎ 一方的な講義にしないための参画の促し方に関する法則:90/20/8 の法則
- ◎ 研修デザインの基本要素と組み立てに 関する法則:コンテンツ、参画、リビ ジット
- ◎ 参加者の経験や知識を引き出し、納得度を高めるための組み立て順序
- ◎ 優先順位についての考察
- ◎ 大人の学習の法則

モジュール 3.

インストラクショナルデザイン

- ◎ 研修企画・デザインの 8 つのステップ ~ニーズ分析から最終リハーサルまで
- ◎ 研修のゴール設定
- ◎ 研修手法のバラエティ
- ◎ 対応が難しい参加者への対応方法
- ◎ 様々な世代への対応方法
- ◎ 大人のモチベーションを高める 11 の 要素
- ◎ 研修後のフォローアップ
- ◎ 研修の効果測定
- ◎ 研修での学びを職場での実践に結び付けるための戦略



こちらのペースに引き込み、全ての受講者が同じ空間・時間を 共有しながら研修成果を上げていく、そんな具体的なテクニックを修得できました。修得したテクニックは担当研修にすぐ使うことができ、講座アンケートでも最高得点を打ち出すことができました。同僚の研修担当者から、研修テクニックのアイディアマンと思われているのは、実はこのワークショップのおかげなのです。

【日系メーカー: 研修担当

(ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】

"教える"という立場をすることが増えてくる中、このワークショップに出会いました。"教わる"という人々の体験の中、基本を思い出させてくれました。研修に対する多様なニーズにいかに応えるか。講師主体の"教える"から参加者主体の"育む"への気づきをもらえた貴重な経験となりました。実際に、参加者の先にいる上司から変化のあった参加者を見て「何をしたの?」と聞かれることも増えました。これまでの自分なりの常識を、いい意味で根底から変えてくれたワークショップでした。【医療機関:研修担当

(ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】

ワークショップに参加して、今までのトレーニングスタイルが 180 度変わりました。トレーナーが頑張って語らなくても、受講者が楽しみながら多くを学び、そして忘れられなくする、まるで魔法のようなテクニックを学べます。トレーナー養成ワークショップで学ぶことは、すぐに教材改善につなげることができますし、教材を準備するときもわくわくです。加えてトレーニング当日も楽しくって仕方がなくなりました。さらに、受講者からは楽しく学べて忘れられない研修になったと言ってもらえました。トレーナーとしてこのテクニックを学べたことは私の財産になっています。そして、クリエイティブ・トレーニング・テクニック・ハンドブックや頂いたテキストは、私のバイブルとして、ずっと側に置いています。

【日系メーカー:研修担当

-(ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】

ー言で言うなら、「解放」です。えっ!と思うかも知れませんが、 このトレーナー養成ワークショップ(TTT-BOOT CAMP)を 受講させて頂き、講師の重圧から解放されました!

今まで、漏れなくコンテンツを実施しようとか、どうやって受講者に集中して貰おうとか、研修中もそういう事で意識が一杯でした。

ところが、このワークショップで、見たことも、聞いたことも、やったことも無い、でもとっても効果的な、手法や考え方が体感できました!

そして、その手法を取り入れ、最近では受講者よりも楽しんで 研修をやってますが、研修満足度が劇的に向上しました! 講師の心構えもノウハウも身に付き、自信まで持てるようになり ました。本当にありがとうございました。

【通信会社:プレゼン講師

(ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】

「教員主導、学生主体」、これは私の理想とする授業です。 大学で20年教員をやっていると、講義に慣れっこになっている 自分、そのほうが楽だと思っている自分がいます。でも、最近 (2010 年以降) の学生は、活動好き・クイズ好き・おしゃべり 好き。教員の話も細かな点は聞かず、指示が徹底しない。困っ たな~。

ですが、このブートキャンブに出会って、授業に学生自身の活動を取り入れる方法やヒントを、体験を通して学びました。それをもとに工夫する楽しさを知りました。職種を越えて、若者の人材育成に興味関心を持っている方々とも出会いました。 充実した内容、参加者のレベルの高さ、終了後も続くワクワクとドキドキ。

理想の授業に近づくためにも、今後も折に触れ、このキャンプ やワークショップに参加したいと思っています。 【大学教員】



これまで、ハンドブックを読み、無料セミナーに参加したりして独学で実践してきたつもりでしたが・・・違いました。甘かったです。眠るどころか、息つく暇もないに近い、あっという間で、楽しく、内容の濃い2日間でした。会場に足を一歩踏み入れた時から、場づくり、雰囲気、参加者とのやりとり、勿論ワークショップの中で、正に参加者主体での学び、経験ネタが満載でした。そして、独学で分かったつもりになっていた私に、実践経験による学びと気付きの手法を与えていただきました。ありがとうございました。

【日系精密機器メーカー: <mark>研修担当</mark> (ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】



教材には、クリエイティブ・トレーニング テクニック・ハンドブックが含まれます

Bob Pike's Train-The-Trainer Boot Camp - Application

トレーナー養成ワークショップ~実践編~









「参加者主体の研修手法」を実践するぞ! …でも、うまくいくか心配…という方に

「参加者主体の研修手法」に対する理解を深め、バリエーションを増やし、失敗を恐れる必要のない安全な環境で実践練習することができる、1 日ワークショップです。理論をしっかりとリビジットし、ご自身の研修コンテンツにあてはめて研修デザインを作成し、実践練習。参加者同士や講師からフィードバックを受け、実践で活用するための沢山のヒントをお持ち帰りいただきます。



((こんな方に))

- ◎ トレーナー養成ワークショップ参加後、学んだテクニックを練習して自分のものに落とし込みたい方
- ◎ プロフェッショナルトレーナーの認定テストに挑戦したい方(実践編を修了した方は受験できます)

〈〈 実践編のねらい 〉〉

- ◎「参加者主体」の主要理論をリビジットし、自分自身の研修にあてはめる
- ◎ 参画の機会を増やす方法を検討する
- ◎ 参加者がすでに持っている知識をうまく引き出すための方法を検討する
- ◎『経験 >> 気付き >> 理論』の手法を練習する
- ◎ グループディスカッションや演習などの進め方のコツを確認する
- ◎ 自分自身の研修内容にあてはめ、数分間の実践練習を2回行う
- ◎ 参加者同士のフィードバックからさらによくするためのヒントを得る





((内容))

■ 「参加者主体」のアクティビティ

- ◎「参加者主体」のアクティビティを作成 するコツ
- アクティビティをスムーズに進めるステップとコツ
- ◎ グループリーダーを選ぶ方法のバラエティ

2. 参加者を巻き込む方法

- ◎ エナジャイザーのバラエティ
- ◎ 比喩・例えを活用する

3. 2分間プレゼンテーション

4. 「参加者主体」の 研修デザイン作成

- ◎ CSR を使った組み立て方法
- ◎「参加者主体」の研修実践のための チェックリスト

5. 10 分間 * プレゼンテーション練習

お申し込みは、過去に「トレーナー 養成ワークショップ」にご参加い ただいている方に限らせていただ きます。

(日本能率協会様でのご参加の場合は「研修インストラクターのためのトレーニング・テクニック習得セミナー」)

*参加者の人数により分数を変更する場合があります。



参加者主体のトレーニングテクニックを学んで2年。研修の効果も出てきましたが何となくマンネリ感が拭いきれませんでした。今回実践編を受けることでまた新しい刺激を受けました。グループ活動の進め方は、受講者自身のアクションが理解しやすくなっただけでなく、時間制限による慌ただしさ感も払拭することができました。また、プランニングテンブレートは今の講座の再整理にも役立ちました。実践編でも、すぐ使える具体的なテクニック満載です。

【日系メーカー:研修担当(ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】

トレーナー養成ワークショップの復習がありましたが、1 年以上前のことを鮮明に思い出せる自分がいることにビックリしました。ボブ・バイクの手法を実体験できました。記憶に残し現場で実践できるメソッドにいつわり無しでした。また、自身が普段行っているトレーニングを使っての実践があって、参加者からの率直なご意見が聞けました。現場での実践のきっかけとなるトレーニングで、いかに参加者に興味を持って参加してもらえるか。興味のパワーについて実感できたトレーニングでした。

【医療機関:研修担当

(ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】

トレーナー養成ワークショップとのダブり感もなく、且つ程よく振り返りながら、次から次へと実践、実践・・・。その中で、正に参加者主体研修の実践編を自分が経験して学んでいました。そして、他の参加者からも多くの学びと気付きをいただけました。おかげさまで、自分自身が参加者主体の研修を実践していく姿が見えてきました。ありがとうございました。これから実践していけることにワクワクしています。

【日系精密機器メーカー:研修担当

(ボブ・パイク・グループ認定 プロフェッショナルトレーナー)】

Bob Pike's Train-The-Trainer Boot Camp - Academic Package

アカデミックパッケージ



国内外で企業の人材育成に大きな効果をあげてきた「参加者主体の研修手法」を FD・大学の授業に取り入れ、より質の高い授業を行うために役立てていただきたい。 その願いからご提供している特別価格のパッケージです。

アカデミック・パッケージ

「トレーナー養成ワークショップ」(通常版・企業向け)の内容から、大学の授業への応用度が高い要素を抜粋して学んでいただきます。 大学での活用事例などもご紹介しながら、ご自身の授業への活用・応用方法を見つけていただくことを目的としています。

- ◎ 学びの CORE (核) を形成する手法 ── クロージング、オープニング、リビジット、エナジャイザー
- ◎ 場づくり・学習環境づくりのための要素
- ◎「学生主体」の学びをつくりだす授業のデザインのための2つの主要概念
- ◎ 記憶に定着させるための7つの方法
- ◎ パイクの学習の5つの法則
- ◎ インストラクショナル・デザイン 8 つのステップ
- ◎ カリキュラム作成において欠けていると思われる要素 ── 人はどのように学ぶのか
- ◎ 対応が難しい学生への対応
- ◎ モチベーションを上げるための 11 の工夫



大学向けお試し版

「クリエイティブ・トレーニング・テクニック」の主要概念を、短時間で体験していただきます。

- ◎ 学びの CORE (核) を形成する手法 ── クロージング、オープニング、リビジット、エナジャイザー
- ◎「学生主体」の学びをつくりだす授業のデザインのための2つの主要概念
- ◎ 記憶に定着させるための7つの方法
- ◎ カリキュラム作成において欠けていると思われる要素 ──人はどのように学ぶのか

*詳しいパンフレットをご用意しております。

Bob Pike's Professional Trainer Certificate

プロフェッショナルトレーナー認定テスト



プロフェッショナルトレーナーとしての 資格取得をめざしたい!!…という方に

ボブ・パイクの「参加者主体」の手法を使ってトレーニング・人材育成において貢献しているトレーナーをプロフェッショナル認定するプログラムです。コーチングやコミュニケーションスキルといった特定手法ではなく、「大人に教える」プロフェッショナルである証となる、他にない認定テストです。「参加者主体の研修手法」をどれだけ身につけているか、Eメールでお送りするテストで確認します。ワークショップのワークブックなどをリビジットし、回答用紙にご記入の上、ご返送ください。合否は2週間以内にご連絡いたします。



- ○合格認定証
- ◎ボブ・パイク氏からのレター
- ◎経歴書などに使っていただけるロゴマーク
- ◎ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社開催のセミナーなどへの特別優遇価格でのご参加



Bob Pike's Interactive Virtual Trainer



参加者主体のオンライン研修 ~講師養成講座~



すっかり定着してきたオンライン研修ですが、講師が話している姿を動画配信するだけでは 参加者の集中力は途切れます。「参加者主体の研修手法」をオンラインで活用し、参加者 を巻き込み、学びを定着させ行動変容を促すスキルを学んでいただけるワークショップです。

2020年。日本でもオンライン研修が急速に普及しました。当初は緊急性が高かったので、試行錯誤で乗り越えた方も多かったことと思います。そして、今。講師側も参加者側もオンライン研修の経験を積み重ねたことで、より質の高いオンライン研修の実施が求められています。講師がただ話すだけの研修であれば、動画配信(オンデマンド学習)でよいのでは?ではどうすれば?

そしてようやく、対面研修が行える状況が戻ってきていますが、以前と同じ状況に「戻る」でしょうか。対面に比べると移動時間や様々な費用がかからない等、オンライン研修のメリットを実感した今、対面が戻ってきてもオンラインが消えることはないでしょう。これを機にオンラインと対面の融合(ブレンディッドラーニング)へとシフトが進むと考えられます。

この講座は、ボブ・パイクの参加者主体の手法をオンラインで活用するスキルを学んでいただけるワークショップです。オンラインのメリットも活かし、オンライン研修の効果を高める方法を学びませんか?対面で行う研修とオンライン研修は何が違うのか、どうデザインし、準備すればいいのか、オンラインで参加者を巻き込むにはどうすればいいのか・・・。そうしたオンラインならではの手法やコツももちろんですが、そもそも効果的な研修とは何か、どうデザインすればいいのか?も学んでいただけます。



<< こんな方に >>

- ◎ オンライン研修の講師をする・している方
- ◎ オンラインの研修で、参加者を巻き込むスキルを学びたい方
- ◎ 対面研修をオンラインに切り替える必要のある講師の方、人材開発ご担当者様
- ◎ オンライン研修の効果を、対面研修と同じレベルに高めたい方

〈〈 オンライン研修のための講師養成講座のねらい 〉〉

- ◎ ボブ・パイクの参加者主体の研修手法の、オンライン研修での活用を体験する
- ◎ 参加者を巻き込むための CORE(クロージング、オープニング、リビジット、エナジャイザー)のオンラインでの活用方法を検討する
- ◎ オンライン研修をデザインする際のインストラクショナルデザインの方法を学ぶ。また、デザインのテンプレートを活用し、自身の研修への応用を検討する
- ◎ ホワイトボード、投票などの機能を使って参加者を巻き込む手法を体験し、自身の研修への活用方法を見つける

((内容))

▮ オンライン研修の基本

- ◎ 対面研修とオンライン研修の違い
- ◎ オンライン研修を行う講師に必要なスキル
- ◎ ホワイトボード、投票機能などを使って参加者を巻き込む方法

2. 参加者主体の研修理論・手法のオンライン研修での 活用と実践

- CORE(クロージング、オープニング、リビジット、エナジャイザー)を活用して参加者を巻き込む方法
- 参加者主体の研修理論と手法のオンラインでの活用
- ◎ インストラクショナルデザインの基本理論とテンプレート

3 オンライン研修で参加者を巻き込む方法

- ◎ オンライン研修で参加者を巻き込むための 73 のアイデア
- ◎ スライドや配付資料作成のポイント

4. オンライン研修でのファシリテーションのポイント

- ◎ 様々な参加者を効果的にファシリテーションするためのコツ◎ オンライン上でファシリテーションを行う際に気を付ける
- ◎ アクティビティの説明の仕方のポイント

*「オンライン研修のための講師養成講座」から名前を変更しました。

Bob Pike's Art of Facilitation

講師のためのファシリテーションスキル研修









参加者を巻き込んで 効果的な学びの場を創りだし、目指すゴールへ 導けるようになりたい!!…という方に

トレーナー養成ワーク ショップの修了後のご参 加がお勧めです。

「参加者主体」の研修を実現するには、学びの場を創りだしゴールへと導くファシリテーションが不可欠です。 ただ単にグループディスカッションを行うのではなく、学びを深めたり、参加者全員を巻き込むために、ファシリテーションの様々なツール (方法)を活用しましょう。 この研修は、ファシリテーションツールについて学び、実践練習する 1 日研修です。



⟨⟨ こんな方に ⟩⟩

- ◎ より効果的にグループを導くことで研修の成果を高めたいとお考えの講師の方
- ◎ 研修においてのファシリテーションツールを学び、活用したい講師の方
- ◎「参加者主体の研修手法」について学んだことがある方

((ファシリテーションスキル研修のねらい))

- ◎ 講師のファシリテーターとしての役割を確認し、ファシリテーターに必要なスキルを討議する
- ◎ 効果的な質問テクニックで参加者を導くスキルを練習する
- ◎ 対応が難しい参加者への対応を検討する
- ◎ グループワークやディスカッションに応用できるファシリテーションツールを練習する



Bob Pike's Making On-line Training Iteractive - Crash Course

オンライン研修を参加者主体にする 3時間集中講座



メリットが大きく、すっかり定着したオンライン研修ですが、 効果を高める余地はまだまだあります!

「チャットやブレイクアウトの活用だけのワンパターンに陥りがち」「一方的に話す 『配信』になってしまった」「参画を促しても参加者の反応が見えず、やりにくい」 など、定着してきたオンライン研修には特有の課題もあります。対面の研修と何 が違い、どんな点に気を付ければいいのか、すぐに実践できるコツを「参加者主体」 の理論・手法をベースに学んでいただく3時間集中講座です。



((こんな方に))

- ◎ オンライン研修を活性化したい人材開発・研修担当者、社内講師
- ◎ 社内のオンライン研修を効果の面から改善したい研修・人材開発担当者
- ◎ オンライン研修で講師として登壇予定の方

〈〈 オンライン研修を参加者主体にする 3 時間集中講座のねらい 〉〉

- ◎ 社内のオンライン研修を活性化する方法を検討する
- ◎ オンライン研修を活性化する手法を体験し、活用のアイデアを得る

((内容))

- 参加者主体の研修理論
- 現状のオンライン研修の課題
- オンライン研修を活性化する オープニング、クロージング、リビジット、エナジャイザーのアクティビティ体験と紹介
- オンライン研修でのアクティビティを行う際の 注意点

Train-The-Trainer for SMEs and Beginners

講師・インストラクター入門 🥨 「語る専門家」から「学びを導く講師」に!





研修・セミナー講師に最も大切なものは、 人を惹きつける流暢な話術ではありません。

話すのが苦手な方でも「参加してよかった!他の人にも勧めたい!」と思ってもらえる研修 をすることは可能です。人の学び方のメカニズムや、研修デザインおよびファシリテーショ ンの基本理論と手法を学べば、講師の話術や人柄に依存しない研修をすることができます。

- ◎ セミナー講師として登壇することになったけれども、経験がなく不安
- ◎ 研修は本業ではないのに、専門分野について社内講師を任された
- ◎ 伝えたいことはたくさんあるけれど、研修をどう構成すればうまく伝わるのか分からない
- ◎ セミナー開催を通してビジネスを広げたいので、インパクトのあるセミナーにしたい

このような方々に、研修・セミナーや「人に理解してもらうこと」を成功に導くノウハウを 習得していただく入門講座です。





〈〈 こんな方に **〉〉**

- ◎ これから講師デビュー、または講師としての経験がまだあまりない、など、講師としての基本を学 びたい方
- ◎ セミナー開催を通してご自身のビジネス獲得・拡大につなげたいけれども、セミナー講師が本業 なわけではなく、まだ講師経験はあまりない
- ◎ 士業、専門学校や大学の教員、社内講師、セミナー登壇を依頼された等、ご自身の専門分野で セミナーや講座を担当する方
- ◎ 「参加者主体の研修手法 | について初めて学ぶ方

((講師・インストラクター入門講座のねらい))

- ◎『参加者主体』の教え方を体験し、自身の研修・セミナーへの応用を検討する
- ◎ 講師のレクチャー主体の研修ではなく、参加者の主体的な学びの場を創るための基本理論を学び、 自身の研修・セミナー設計に活用する
- ◎ 安心安全な学びの場を創るために、講師が避けた方が良い行動を認識する



テキスト「講師・インストラクター 入門」はご自身でお手元にご用意く ださい。

((内容(対面)))

●事前学習

- ◎ 書籍「講師・インストラクター入門」を読んで自己学習
- ◎ 10~20 分程度の動画視聴

●研修当日

- 【 ■『参加者主体の研修』手法体験
- 2. 研修・セミナーを成功へ導く5つの秘訣
- ◎ オープニングとクロージング
- ◎ 学びの定着をサポートする手法
- 大人の学びのための研修設計
- ◎ 主体的な学びの場を創るための、講師の NG 行動 5 つ
- ◎ 参加者を飽きさせず、主体的な学びの場にする研修手法
- 3. 対応が難しい場面の対応方法
- 4 今後の自身の研修・セミナーへの活用方法検討
- 5。実践練習

((内容(オンライン)))

●事前学習

- ◎ 書籍「講師・インストラクター入門」を読んで自己学習
- ◎ 10~20 分程度の動画視聴

●18目

【■『参加者主体の研修』手法体験

2. 研修・セミナーを成功へ導く5つの秘訣

- ◎ オープニングとクロージング
- ◎ 学びの定着をサポートする手法
- 大人の学びのための研修設計
- ◎ 主体的な学びの場を創るための、講師の NG 行動 5 つ
- ◎ 参加者を飽きさせず、主体的な学びの場にする研修手法

3. 今後の自身の研修・セミナーへの活用方法検討

●2日目

4』実践練習

フォローアップコンサルティング

研修設計についてのアドバイスや、デモレッスンを見てフィードバックする、など、個別のフォローアップをご提供します。

Train-The-Trainer On-demand Learning



参加者主体の講師養成講座 インデマンド版~ビギナー編





オンデマンドだから

これから研修講師になる方、講師はしていても体系的に学んだ ことのない方、経験は積んでいるけれど再確認したい方たちの ためにご用意したオンデマンドのコンテンツです

基盤となっているのは、ボブ・パイクの参加者主体の研修理論・手法です。中村文子、ボブ・ パイク著の「講師・インストラクターハンドブック」の内容をベースに、50数本の動画で 学んでいただけます。オンデマンドですから、ご自身のペースで、いつでも、どこでも、 何度でもご視聴いただくことが可能です。参加者主体の基本理論、研修デザイン、研修 デリバリー、研修ファシリテーションの 4 つの領域について、講師としての基本知識を学 んでいただける内容です。

\ この講座自体が「参加者主体の研修」の体験になります ╱



((こんな方に))

- ◎ 現在講師として活躍しているが、ただ情報や知識を伝えるだけの"一方的な講義"にしてしまうこ とが多く、参加者との双方向性を持ったコミュニケーションを取りながら研修を進めたい、そのメ ソッドを学びたい方
- ◎ 今後の講師として初登壇の機会があり、それに備えたい方
- ◎ 研修講師として登壇に"不安"や"悩み"がある方

((オンライン研修のための講師養成講座のねらい))

◎ 一方的な講義をする研修に終始せず、「参加者主体」の研修理論と手法を活用して参加者を巻き 込みながら研修を進められるようになる

((内容))

【 ■ 参加者主体の研修理論

- ◎ 参加者主体とは
- ◎ 学習スタイル
- ◎ オンライン vs 対面 など

2. 研修デザイン

- ◎ 研修の目的設定
- 研修デザインの基本法則○ 構成順序 など

3. 研修デリバリー

- ◎ 講師の基本動作
- ◎ 参加者とのコミュニケーション
- ◎ スライドと配付資料のデザイン など

4. 研修ファシリテーション

- ◎ 安心して学べる環境づくり
- ◎ 全員を巻き込むファシリテーション
- ◎ グループワーク運営 など



テキストとなる「講師・インストラクター ハンドブック」(中村文子、ボブ・パイク著 日本能率協会マネジメントセンター)はご自身 でお手元にご用意ください。

Bob Pike's In-House Training / Trainer Development Support

研修内製化支援



企業文化醸成、ノウハウ継承、競争力強化。 「既成の研修」では教えられないことを、 「研修内製化」で可能にしませんか?

企業文化醸成、ノウハウ継承、組織の競争力強化のキーとして注目されている 「研修内製化」を、講師養成の世界的権威、ボブ・パイク氏のノウハウを駆使 して支援いたします。

理論に基づくメソッドと、40 年以上の実績に裏付けられた手法による、2 つの 分野からのサポートです。

1. 研修内製化コンサルティング

2. 研修内製化デザイン支援



研修内製化を進めるステップ



研修内製化コンサルティング

内製化を進めるにあたり、以下のような場面で内容に応じたアドバイスを ご提供いたします。

- ◎ 人材育成に関するニーズ調査の方法検討や現状分析を行う
- ◎ どの研修を外注するか、内製化するかの判断をする
- ◎ 内製化を進めるプロセスやステップを明確にし、計画を立てる
- 社内で行っている研修を体系化する
- ◎ 社内講師の研修スキルを観察・評価し、フィードバックを行う
- ◎ すでに実施している社内研修について、その効果測定を行う

研修内製化デザイン支援

〈〈 こんな方に **〉〉**

- ◎ 社内にあるノウハウを効果的な研修プログラムとして作成したい
- ◎ 今より効果的な研修にするため研修プログラム内容やデザインを変更したい
- ◎ 研修デザインの見直しは、やりたいことはたくさんあるけれども時間がない
- ◎ より効果的な研修にするために、プロのアイデアが欲しい

より効果的な研修に作り変える



ご支援をいたします。

会社概要

Dynamic Human Capital

設 立 2005年1月

所 在 地 横浜市中区桜木町 1-1-7 ヒューリックみなとみらい 10 階

TEL:045-228-5304 FAX: 045-228-5304

代 表 代表取締役 中村文子

主要取引先

アクサ生命保険株式会社 アディダスジャパン株式会社 Apple Japan 株式会社エスアールエル大塚製薬株式会社 小野薬品工業株式会社 カネボウ化粧品販売株式会社 株式会社関電工 九州生産性本部 ギリアド・サイエンシズ株式会社 株式会社 QUICK グッチ・グループ・ジャパングーグル株式会社 株式会社ケイキャリアパートナーズ コーチ・ジャパン さくらインターネット株式会社ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社シャネル合同会社住友生命保険相互会社ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社ソフトバンク株式会社大日本住友製薬デクセリアルズ株式会社デッカーズ東急リアル・エステート・インベストメント・マネジメント株式会社株式会社東芝 20世紀フォックス映画株式会社日本能率協会マネジメントセンター日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社野村部券株式会社株式会社がファイナンシャル生命保険株式会社ペンギン食堂マイラン製薬株式会社がルデンシャルジブラルタファイナンシャル生命保険株式会社株式会社明治メットライフ生命保険株式会社ヤマト運輸株式会社リ・カレント株式会社株式会社WOWOWコミュニケーションズ

足立区 渋谷区 千代田区 特別区研修所 佐賀大学 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 芝浦工業大学 高知大学 明石高専工業高等専門学校 宇部工業高等専門学校 都立産業技術高等専門学校 福岡工業大学

IHG・ANA・ホテルズグループジャパン 小田急リゾーツ グリーンホスピタリティーマネジメント 株式会社サンルート 株式会社ジェイアール東海ホテルズ 芝パークホテル シャングリ・ラ ホテル東京 相鉄イン 日本ホテル株式会社 ヒルトン 富士屋ホテル株式会社 マンダリン オリエンタル 東京 株式会社三井不動産ホテルマネジメント メルパルク株式会社 横浜ベイシェラトン ホテル & タワーズ

執筆活動等

日本能率協会、SMBC コンサルティング 講師 オータパブリケイションズ「週刊 ホテルレストラン」にて「ホテルの人材開発担当者養成講座」連載執筆 宿屋大学 講師 日本ホテル協会 セミナー講師

ホテル産業経営塾 講師早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校にて「戦略的時間管理術」担当日経ビジネススクールにて「タイムマネジメント」「ホスピタリティ&CS 向上研修」担当 他

代表者紹介

中村文子 ダイナミックヒューマンキャビタル株式会社 代表取締役 ザ・ボブ・バイク・グループ マスタートレーナー



大阪府出身。神戸市外国語大学 外国語学部 英米学科 卒業。マイクロソフト株式会社名古屋営業所 勤務を 経て、P&G ジャパン、ヒルトン東京ベイにて人材育成 に携わる。異文化コミュニケーションスキル、社内トレー ナー養成、新入社員研修、ビジネススキル研修、マネ ジャー研修などで豊富な講師経験を持つ。また、組織風 土改革、日本人がグローバルに活躍するためのグロー バルミュニケーションスキルの開発、業績評価システム、 キャリアディベロップメントプログラムの導入、育成す るカルチャーの確立、マネージメントチームの一員とし ての戦略会議ファシリテーション担当など、研修だけに とどまらず、包括的かつ組織開発的なアプローチで人 材育成に取り組んで成果を残している。 2005 年にダ イナミックヒューマンキャピタルを設立。人材育成と組 織開発の分野で、ホテル業界、不動産販売、ブランド 販売などの業界で活動中。専門分野はトレーナー養成、 管理職研修、ビジネスコミュニケーションスキル研修、



ホスピタリティなど。また人材開発マネジャーを業務請負し、教育研修制度の構築も手がける。2008年Bob Pike Group グローバルリーダーシップ賞受賞。2012年Bob Pike Group インターナショナル・ライセンシー・オブ・ザ・イヤー受賞。著書に「講師・インストラクターハンドブック」『研修デザインハンドブック』『研修アクティビティハンドブック』『研修ファシリテーションハンドブック』『オンライン研修ハンドブック』(以上、日本能率協会マネジメントセンター刊 ボブバイク氏との共著)「講師・インストラクターハンドブック』(日本能率協会マネジメントセンター刊)がある。



Bob Pike's

TRAIN-THE-TRAINER BOOT CAMP

「参加者主体の研修手法」を 活用すれば…

- ●学ぶ意欲が向上します
- ●全員が積極的に参画するようになります
- ●職場での実践率が上がります
- ●記憶保持率が向上します
- ●短時間での知識の習得が可能です

推薦の言葉

「一方的な講義形式の研修から脱却したいトレーナーには、ボブ・パイク氏の参加者主体のワークショップとコンサルタントを推薦します。弊社のスタッフは、クライアントにより効果的なトレーニングが提供できるように、ボブとボブのコンサルタントから学んだアイデアを応用しています。他にも多くの会社が同じことをしています。」

ケン・ブランチャード博士

"The One Minute Manager (1 分間マネージャー)" の共同執筆者

「ボブ・バイク氏は常に最先端の実践的なアプローチを使って、学習法やトレーニングの手法を紹介しています。このワークショップに参加すると、実践的なプロセスやテクニックを学ぶことができます。 それは単なる理論ではなく、間違いなく結果を出すことができる実践的なプロセスやテクニックなのです。

エリオット・メイシー氏

メイシーセンターアンドラーニング 2007 の創立者 "コンピューター・トレーナー・ハンドブック" の著者

Dynamic Human Capital

ダイナミックヒューマンキャピタル株式会社 〒231-0062 横浜市中区桜木町 1-1-7 ヒューリックみなとみらい 10 階

TEL 045-228-5304 E-mail info@d-hc.com http://www.d-hc.com